

2009年度東海地区協議会研究会第4回運営委員会議事録

《日 時》2009年12月18日(金)14:00~16:40

《場 所》中京大学名古屋図書館会議室

《出席者：敬称略》

井上(豊田工業)、角田(同朋)、濱口(愛知)、栗木(愛知学院)、小川(愛知工業)、
山口(愛知淑徳)、鈴木(金城学院)、高木(中部)、中島(豊橋創造)、
八鳥(名古屋外国語)、尾崎(名古屋女子)、紅露(南山)、小川(名城)、中河原(中京)、
平野(中京)

議題

1. ウェブサイト申し合わせの改正について

資料に基づき、鈴木委員(金城学院)より、改正案について説明がなされた。

- ・ ウェブサイトの運用・管理は、理事校から運営委員会が委嘱を受け、実務は運営委員会ウェブサイト担当者が行う
- ・ 研究会活動に関わる情報並びに機関紙「館灯」に関わる情報については、委員長校が責任を負う
- ・ ウェブサイトに掲載する情報の流れを規定し、全ての情報は発信者から委員長を経て、各担当者に伝達される(掲載された情報の確認は逆の流れで行う)

以上三点について確認がなされ、異議なく承認された、本案は3月12日に開催される常任幹事会に提出されることとなった。

2. 2010年度運営委員について

本年度副幹事校の同朋大学に替わって、次々年度に主幹事校となる名古屋学院大学に運営委員就任を依頼することを決定した。また、委員長より同朋大学を除く他の委員は、2010年度も引き続き運営委員の任に当たることが要請され、異議なく承認された。併せて、委員長から各委員の所属長に連絡し、委員就任の内諾を得ることが確認された。

委員の任期を二年とする案について意見交換がなされたが、二年後理事校が交代する際に見直すこととなった。

3. 2010年度研修会について

研修会担当のリーダーを小川委員(名城)が担当することとなった。研修会を実施するに当たり、その日程、会場、テーマ、講師、予算について、種々意見交換がなされた。

日程は9月1日から3日までの間で2日間とし、研修会場候補として愛知大学豊橋キャン

ンパスと豊橋勤労福祉会館が、宿泊地候補としてホテルシーパレスリゾートと豊橋勤労福祉会館が挙げられた。また、テーマについては資料に示されたB案およびD案と『レファレンススキルの向上』の三案とし、参加人数によってはグループ数を四グループとする案が検討された。本件については、継続審議されることとなった。

4. 2010年度研究会のテーマについて

2010年度研究会は二回開催する予定であるが、その会場については、委員長が個別に各大学と折衝、調整の上、決定することとなった。

研究会のテーマについては、種々意見交換がなされたが、『図書館“脳”力を高める：現状からのステップアップに繋げるために』とすることに決定された。

報告

資料に基づき、尾崎委員（名古屋女子）より、アンケートの総括について説明がなされた。また、アンケート・システムに不具合があることが指摘されたが、その改修を早急に進め、本年度運営委員会予算にて賄うこととなった。

その他

委員長より、次年度本委員会における各委員の担当は、本年度の担当を継続することが要望され、異議なく了承された。また、次年度は、豊橋創造大学が主幹事校を、運営委員就任予定である名古屋学院大学はアンケートを担当する予定であることが確認された。

鈴木委員（金城学院）より、データベース関係あるいはシステム関係の講習会を開催したい旨の提案がなされ、異議なく了承された。

以上

議長 中河原省三（中京大学）

書記 平野 賢二（中京大学）